

# 全国青年大会に参加して

大将 所 勇介

初めにこの度第七十回全国青年剣道大会に出場し、常日頃からご指導ご鞭撻いただきありがとうございます。ご尽力いただきました皆様に感謝申し上げます。

今回の全国青年大会はコロナ禍の影響で三年ぶりの開催となりました。三年前の団体戦は初戦敗退だったので、今年は優勝を目標に選手全員が一致団結して臨みました。

先鋒 大木 和也  
次鋒 野見山広次  
中堅 島戸 貴由  
副将 清水 孝剛  
大将 所 勇介

第一試合は岩手県との対戦でした。初戦ということもあり、先鋒の大木がチーム全体を勢いづかせるため積極的に攻めました。小手を先取され、取り返すために奮闘するも面を打たれ二本負け。

次鋒野見山が取り返すために果敢に攻めました。相手の思い切った面を打たれ一本負け。

先鋒、次鋒が終了した時点で二敗しており、厳しい状況でしたが、中堅島戸が試合の流れを変える思い切りのある打突で先取し、その後も試合の流れをつかみ面を取り二本勝ち。

副将清水は面を打ち切ったところ、胴を返され先取されますが、改めて相手が居ついたところで面を打突して取り返し、その後は相手をよく見て面に来たところに胴を抜いて二本勝ち。

大将所が二勝二敗の大将戦。お互いの

間合いを探る中で相手の剣先が下がったところで面に飛び込み先取。その後に、相手の攻めをさばききれず小手をとられ延長戦へ。打突後の間合いを取った後にさらに後退しているところを一步前進し面を打突。結果これが一本となり二本勝ち。苦しい状況ながらも二回戦へ進出しました。

二試合目は東京都との対戦でした。先鋒戦は攻めて相手が防御で体を崩したところに逆胴で一本先取しましたが、その後面を取られ、延長戦で小手を取られ敗戦。次鋒戦は面を先取され時間いっぱい責めましたが取り返すことができませんでした。中堅は果敢に攻めましたが面を打つたところ、胴を抜かれそのまま取り返すことができず一本負け。この時点でチームの敗戦は決定してしまいました。

副将清水が小手を先取。その後、突きを打たれ追いつかれるも落ち着いた攻め、小手で二本目を取り勝利。大将は試合中盤で面を取られ、時間いっぱい攻めるも取り切れず一本負け。

二回戦目は一勝四敗で敗退となりました。最終的に全体ベスト8の敢闘賞という形で大会を終りました。

前回大会の成績は超えられたものの、目標及ばず、応援していただいたたくさんの方々には申し訳ない結果となりました。選手は全員が自分の精一杯を出し、頑張ってくれたかと思えます。

今大会での経験を、これからの剣道だけでなく、普段の私生活の中でも無駄にすることなく、精進していきたいと思えます。

最後になりましたが、剣道は相手がいなくとも本当に多くの方に助けていただき

ながら成り立っているということを改めて感じました。それは剣道に限られたことではなく、どんなことも周りの方々に支えられて成り立っていることを忘れることなく、常に感謝の気持ちをもって剣道に励んでいきたいと思えます。



男子団体岐阜県チーム 敢闘賞

## 第七十回全国青年剣道大会

大将 宮田 和枝

十一月十二日、十三日、東京武道館にて第七十回全国青年剣道大会が開催されました。今大会は、新型コロナウイルスにより三年ぶりの開催で七十回目という節目の大会になりました。

十二日開催の団体の部では先鋒 清水 梨帆(大学生) 中堅 市来 真林(会社員) 大将 宮田 和枝(会社員) チーム一丸となって試合に臨みました。

一回戦、神奈川県と対戦。先鋒清水は、返し胴で一本勝ち。中堅市来は、延長ま



女子団体岐阜県チーム

で粘りますが出ばな小手を取られ一本負け。大将宮田は、相手に引き出され返し胴を取られ一本負け。チームは二対二で初戦敗退となりました。入賞を目標に臨んでいましたので悔しさと課題が残る試合となりました。初戦の神奈川県は順調に勝ち上がり優勝を決めました。優勝したチームは、一戦一戦粘り強く、このこという場面ですかさず技を出し勝利を決めていきました。優勝したチームと対戦できたことは私たちにとても良い経験、良い刺激となりました。また、十三日開催の個人の部には、団体の部出場の三人も試合に臨みました。その結果、宮田は、敢闘賞(ベスト8)に入賞することができました。今大会で得た課題を、今後の稽古に活かし、各種大会で良い結果を取られるよう稽古に励んでいきます。最後に、歴史ある大会に参加させていただきありがとうございます。今後ともご指導よろしくお願いたします。